

**カンボジア王国・スバイリエン州  
野菜の供給及び流通システムの  
構築プロジェクト  
実施計画書**

**JICA 草の根技術協力事業  
(緊急経済危機対応 - 包括型) 対象事業**

**平成 21 年 7 月**

**(認定) 特定非営利活動法人  
国際ボランティアセンター山形  
International Volunteer Center of Yamagata**



## 1. 事業の概要

### (1) 事業実施の背景と必要性

#### カンボジアの農業

カンボジアの主産業は農業であるといえるが、労働生産性が低いため、農産物は国内需要さえ満たすことができない。多くの農民は自給的な稲作を行っており、余剰農産物を販売できる規模の農家は全体の3割程度に過ぎないとみられている。近隣の国々と比較しても灌漑、肥料、農機具が未開発、もしくは十分利用されておらず、また流通体制が未整備で、加工施設、貯蔵施設も不足している。そのため安い価格で農産物が海外へ流出し、商品価値の高い加工製品が輸入されるという悪循環が続いている。一方、検疫など農産物輸出に関する施策が十分でないため、農産物の輸出市場も未開発である。

野菜にいたっては、季節にもよるが、需要の70%がベトナムからの輸入野菜によってまかなわれている。ベトナムで高原野菜が大量生産されているため安価でカンボジアに出回っているという状況に加え、カンボジアでは大量の農産物をまとめる卸売業が存在しないため、流通の面でもベトナム野菜に完全に押されている。カンボジアには13,000以上の農民団体があるが、グループによる販売活動を行っているのはその1%に過ぎない。<sup>1</sup>

#### カンボジア政府の政策

カンボジア政府にとって農業は最も重要な国家開発戦略の開発重点分野の一つである。2010年までの「国家戦略開発計画」(NSDP)において、「農業分野の振興」としてあげられた優先戦略には次の項目が含まれている。

- ・ 換金作物の栽培推進（果物、野菜）
- ・ 支援サービスの拡大（農業研究、普及、市場の拡大、農村での小口融資）
- ・ 高付加価値農産品の開発を通じた農業分野の成長
- ・ 農産物加工の推進

また農業・水テクニカル・ワーキング・グループは「農業・水戦略」(Strategy for Agriculture and Water 2006-2010)を策定した。この中で計画されたプログラムのうちのひとつは「農業・アグリビジネス支援プログラム」である。このプログラムの提案書の中で、カンボジアでは農産物が生産者、仲買人といった個人の販売によってしか流通しておらず、卸売りが存在しないこと、そして企業への発展がないことを資金不足によると指摘している。カンボジア政府、及び農林水産省は市場開拓やアグリビジネスの成長に力を入れているといえるが、実施資金に関してはドナー頼みなため、なかなか計画通り実施されていないというのが現状である。またこれらのプログラムの実施は通常モデル地域として数州が選ばれるが、スバイリエンは含まれていない。実質的にはカンボジアの多くを占める小規模農家への支援はNGOなどにゆだねられていると言える。

---

<sup>1</sup> Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries, Ministry of Water Resources and Meteorology(2008) 'Strategy for Agriculture and Water: Cambodia Agriculture and Agribusiness Support Programme'

## スバイリエン地方農業局と IVY



スバイリエン州は7郡に約53万人が居住し、人口の約9割が農漁業に従事している。世帯辺りの平均高地所有率は1.15ha、1haあたりの米の収穫は2.1tで全国平均を12%下回っている。土地が痩せて農業生産性が低いため、首都への出稼ぎ率が非常に高い。

スバイリエン地方農業局は農林水産省との強いパイプを持つ局長のリーダーシップのもと、様々な農業を通じた生活向上を目指した活動を行っている。またIVYの現プロジェクト「女性による野菜の共同生産・共同出荷を通じた農村

振興プロジェクト」に対しても「規模は小さいがよいモデルになる」と高い評価をもらってきた。IVYはスバイリエン州スバイチュルム郡において女性組合の組織力を生かした生産者グループを作り、グループを通してメンバーが野菜を市場に出荷するというシステムを作り上げていた。スバイリエンの農作物市場の開拓に力を入れたいIVYとは目的が合致したのである。

農業局はスバイリエンのある特殊な状況を逆手に取った戦略を持っていた。スバイリエン州はベトナムに突き出た形で位置しているため、三方をベトナムに囲まれている。このベトナムとの位置関係は様々な意味でスバイリエンの経済に影響を与えている。農村では農作物がベトナムの仲買人によって買われ、ベトナムの加工品や工業製品が逆に流れ込んでいる。また国境のある街バベット(Bavet)はホーチミン国際空港まで65km、サイゴン港まで80km、プノンペンまで190kmの好立地にあるため特別経済区として発展し、工場建設が進んでいる。ホーチミンから2時間という距離にあるため、ベトナム人が娯楽や買い物に訪れる街として人気を呼んでいる。国境付近には8つの大型ホテルが隣接し、辺りの農村風景とは全く違った様相をなしている。しかしこれまでスバイリエンとバベットは工場へ大量の労働力を提供する以外にあまり接点を持たなかった。1つのホテルだけでも従業員1,000人以上、一日の来客数2,000人、消費される食糧は1日1トンとも言われているが、そのほとんどが国境を超えてベトナムから購入されていたのである。そうした状況を打開するために、2008年12月にスバイリエン農業局はバベットで農業祭を開催し、スバイリエンの農作物をバベットの関係者に宣伝した。その後、カンボジアの農村支援に関心を持っていた韓国系のホテルから、ぜひス



バベットの農業祭で農林水産省大臣に女性組合の野菜を紹介するIVYスタッフ

バイリエンから農作物を購入したいという申し出がスパイリエン農業局まであった。そこで農業局では野菜の出荷から開始することにし、週二回の出荷のうち1回をIVYが担当することになった。「女性による野菜の共同生産・共同出荷を通じた農村振興プロジェクト」の3年目に入っていたIVYに、出荷を取りまとめる十分な組織力があると農業局は判断したのである。農業局としては野菜の出荷はスタート地点に過ぎないと考えており、米や肉の出荷、そしてバベットのほかのホテルへの出荷なども既に念頭に置いており、IVYとの協力関係もより強化されることを期待している。

## IVYの共同出荷の意義

スパイリエンの上記のような状況の中で、IVYの共同出荷活動は画期的であり地元で注目をあびた。

まず生産者グループの組織を利用した近隣の市場での販売は、販売員が「自然農法」というロゴのTシャツを着用し、同ロゴの盾(POP)を商品の前に置いたため、「女性組合の安全な野菜」という認識は市場に来る客の間で急速に高まった。見た目が新鮮なこともあり、市場の他の野菜の1割り増し以上の値段で取引された。また当事業を他のスパイリエンのNGOのセミナーなどで発表するように依頼されることもあり、発表を聞いた農家から「ぜひうちの村でも同じプログラムをやってほしい」という声を聞くこともあった。

またバベットのホテルへの出荷については、当初はホテルからの出荷の要請があっても、それに応えようとする農民組織が現れなかった。出荷を取りまとめるノウハウや連絡網を持っていなかったからだと思われる。しかしスパイリエン農業局はIVYが生産者グループのネットワークを生かしてある程度の野菜の量をまとめ、イベントや首都などで不定期に販売していることを知っていたため、週1日の出荷をIVYに依頼してきたのである。このバベットへの出荷事業が開始されるにあたって、IVYは20の生産者グループを再編成し、4つのゾーンを編成し、それぞれのゾーンに出荷場を設けた。また選挙で選ばれたそれぞれのゾーンのリーダーに携帯電話を支給することで、IVYからゾーンリーダーへ、ゾーンリーダーから各グループの販売員へ注文の連絡を行き渡らせるシステムが確立した。バベットへの共同出荷は対象地区の生産者メンバーにとって、これまで個々の農家と顧客、もしくは仲買人へという農作物の流通に変化を起こしたといえる。出荷活動には農林水産大臣が視察に訪れるなど、カンボジアの農業関係者、援助関係者からも注目を集めている。

## 新たなプロジェクトの必要性

大口の顧客への出荷活動は、システムとしては軌道に乗っていると言える。毎週400kg前後の注文があり、売り上げは毎回平均150米ドルほどにのぼっている。稲作からの収入がほとんど期待できない貧しい農村にあって、出稼ぎ以外による現金収入への道が確実に開かれつつあると言える。生産者協会の利益も毎回6ドル前後出るので、その中からリーダーへの配当金や電話代が支払われている。6月には新たに4村から6つの生産者グループが加わり生産者400名以上を抱えた生産者協会となった。また生産者協会のリーダーの月例会も行われ、「もっとビジネスについて学びたい」という積極的な意見が聞かれている。しかし出荷や運営にあたって次の問題が出ている。

・「生産量が足りない」

バベットからの注文は安定し、顧客とは生産者と話し合いを持ったり交流したりと良好な関係を築いている。しかし一方で生産量が注文に追いつかないという問題が開始直後から発生している。これはもともとは現事業が IVY が女性組合を形成してきた村のみを対象としているため、女性の組織力を生かすことはできても、生産面では「自家消費のための家庭菜園」レベルから脱することができていない生産者が多いということも一因にある。また現プロジェクト期間中は不安定な天候にも悩まされ、平地のスパイリエンでは雨で野菜がだめになることが何度もあった。そのため、時には注文された量の 10%しか女性組合の生産者協会から集荷することができず、不足分は市場から買い集める、という事態も起きている。結論とすると、現在の対象村 20 村だけでは月に 1,000kg 以上にのぼる注文に対応することは難しいということである。今後出荷日数を増やしていく、米、肉などのオーダーにも応えていく、バベットの他のホテルにも出荷していく、というのは現在の女性生産者協会のキャパではとても無理であろう。視点をスパイリエン州全体に広げ、農家の組織化、ネットワーク化を図る新事業が必要であると考えられる。

・「出荷活動への支援の継続が必要」

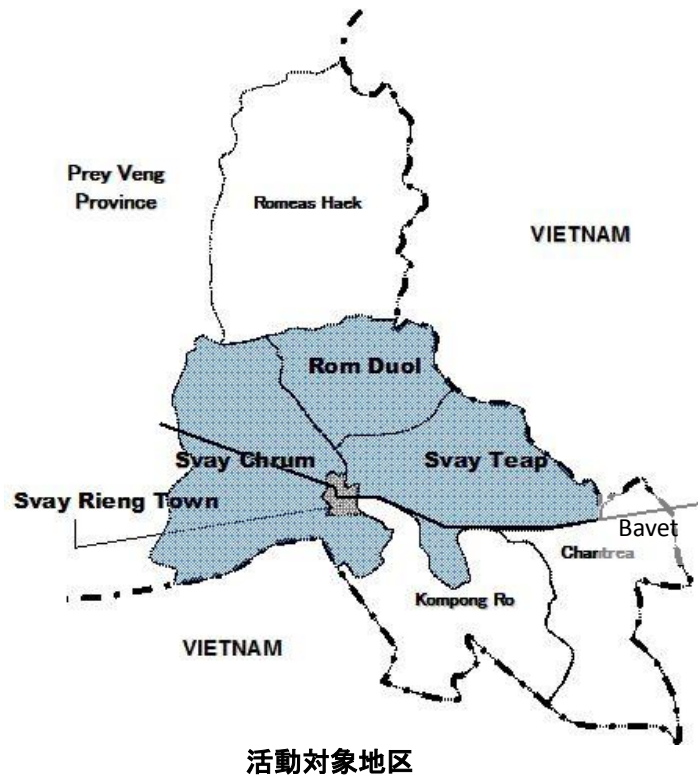
大口への出荷活動が始まるにあたって、IVY は既存の生産者グループをまとめた女性組合生産者協会の設立を始めとし、資金面や人材面で全面的に出荷活動を支援した。これは農業局から指定された大口への出荷活動開始まで準備期間がほとんどなかったため、IVY が活動を先導せざるを得なかったという事情がある。実際生産者協会には販売員から野菜を買い取る資金もなく、リーダーたちは当初携帯電話さえ持っていなかった。そこで IVY は出荷活動を開始、継続するために、野菜買取のための資本金の支援、リーダーへの携帯電話支給、プロジェクトカーを使用した野菜の運搬支援、運搬に必要なコンテナの提供などを行った。また人材面では IVY のマーケティングチームが中心となり農業局からの注文の受け取り、リーダーへの注文の連絡、集荷の取りまとめ、野菜の下準備の指導、生産者協会の会計などを担当した。生産者協会のリーダーたちは主体的に出荷活動の責任を担っており、IVY のスタッフとも支援者と受益者という関係ではなく、対等なパートナーとして協力関係を持つようになってきている。ただし、この出荷活動が開始されたのが現プロジェクトの最終年だったこともあり「IVY が撤退したらばこの出荷活動はどうなるんだろう」「出荷活動を私たちだけでやるのは無理なので支援を続けてほしい」と言うリーダーからの声は当初から聞かれていた。運搬手段の確保などの物資面での支援確保の他、生産者協会が自立した運営を将来行えるよう、時間をかけて人材を育成し組織を支援していく必要があるといえよう。

## 対象地域

IVY は対象をスバイリエン州全体に広げた場合に、どんな地域が候補地となり得るか簡易調査を行った。まず農村開発分野で活動する NGO や農業局の普及活動対象地域を 117 村リストアップし、次にその村の村長や篤農家に話を聞いた。その結果現在までのところ暫定的にスバイチュルム郡、スバイテップ郡、ロムドゥール郡、スバイリエン町から 60 の村が選ばれた。

選択の基準は以下の通りである。

- 野菜販売を行っている農家が 8 世帯以上いる
- 農業が成功する潜在力が高い



## (2) 事業の具体的内容

### ① 事業計画

#### 将来的に達成が期待される目標（上位目標）

スバイリエン州の農民が野菜を販売できる大口顧客を獲得することにより、収入が向上する。

指標：生産者協会に加入しているメンバーの収入が野菜販売により増加する。

#### 事業終了時の達成目標（プロジェクト目標）

スバイリエン州における野菜の供給及び流通システムが、野菜農家の組織化により構築される。

指標：生産者協会の出荷及び流通システムが以下によりスムーズに運営される。

- 1) 900 世帯以上の農家が生産者協会に加入する
- 2) 生産者協会が1つ以上の大口顧客を持っている
- 3) 生産者協会が1週間に800キロ以上の野菜を供給する

#### 事業終了時の目標達成のために具体的に生み出すべき成果

1. スバイリエン州生産者協会が設立され、メンバーを中心とした運営がなされる  
指標：設立総会が開催され、運営委員会が定期的にかれる
2. 定期的な出荷体制が整い、出荷が開始される  
指標：定期的な出荷が混乱なく行われる
3. 農家の無農薬野菜栽培技術が向上し、収穫量がより安定する  
指標：野菜の販売量が毎年増加し、栽培品目も増加する
4. 生産者協会の販売チャンネルの一つとして、スバイリエントウンに自然食品店が開設される  
指標：生産者協会直営の店舗にメンバーから定期的な野菜が供給される
5. 生産者協会の農産物加工品の製造と販売が強化される  
指標：生産者協会の顧客数と扱う品目が増加する
6. 生産者協会の運営を担う人材が育成される  
指標：プロジェクト終了時に生産者協会のリーダー達が自ら顧客の開拓、販路の拡大、交渉を行える能力をつけている
7. 既存の女性組合の野菜共同出荷グループの能力が強化される  
指標：プノンペンでの野菜販売が継続される

#### 成果を生み出すために必要な活動

##### 1. スバイリエン生産者協会の設立

- 1.1. 事業説明のためのワークショップを開き、興味のある栽培グループや農家に協会へのメンバー登録を呼びかける
- 1.2. メンバー登録したグループを調査したり、グループの再編成をしたり、出荷のためのゾーンを作る

- 1.3. グループリーダーをまず選出し、さらにその中からゾーンリーダーを選出する
- 1.4. ゾーンリーダー会議を開催し、協会の規則、規約、組織体制、代表を決定する
- 1.5. ゾーンリーダー会議を毎月開催する。活動・会計報告を関係者内で共有する
- 1.6. PDA、連携 NGOs と諮問委員会を設立し、定期協議会を開催する

## **2. 出荷体制の確立**

- 2.1. ゾーンリーダー会議を開催し、出荷の仕組みや直営店舗の運営について決める
- 2.2. 各ゾーンの野菜の生産状況のモニタリング体制を確立しデータベース化を図る
- 2.3. 撰果、包装、梱包の技術指導を行う
- 2.4. すべてのグループが出荷活動を開始する
- 2.5. 顧客と生産者協会の間の契約書作成と交渉をサポートする
- 2.6. 生産者向けニュースレターを発行する。市場動向などについて情報発信する

## **3. 野菜栽培技術向上のための農業指導**

- 3.1. 新規対象村の生産者に対して化学肥料不使用・無農薬栽培の技術指導を行う
- 3.2. 生産者をフォローアップし技術的サポートをする
- 3.3. 生産者が篤農家を視察する機会を設け、農家同士の学びあいを促進する
- 3.4. 新しい技術を適用させるために試験農場を活用する

## **4. 協会直営「農家の店」への経営指導**

- 4.1. 農家の店の開店準備を行う
- 4.2. 生産者協会メンバーからの野菜の買い取り業務をサポートする
- 4.3. 他の農産物の買い取り、販売をサポートする
- 4.4. 野菜の種を含む農業資材の販売を開始する

## **5. 販売促進・商品開発支援**

- 5.1. さまざまなイベントなどで生産者協会が野菜を販売できるようサポートする
- 5.2 生産者グループのマネージャーに販売促進、小規模ビジネスのトレーニングを行う
- 5.3 新しい市場の開拓をサポートする
- 5.4 市場開拓の可能性を探るため、野菜関連の商品を調査する
- 5.5 売れる加工品を作り出すために、トレーニングを行う

## **6. 生産者協会の経営・組織運営の強化**

- 6.1 他の農民組合を訪問し情報交換する
- 6.2 ゾーンリーダーに対して組織運営の能力強化研修を行う

## **7. 女性組合生産者グループの生産者協会の販売と経営の支援**

- 7.1 プノンペンでの販売をサポートする
- 7.2 会計をサポートする
- 7.3 女性組合生産者グループの運営資金を支援する
- 7.4 無化学肥料、無農薬野菜の認証を申請する



## 活動を行うために必要な投入

### 【人材】（日本側）

- ・プロジェクトマネージャー（1名）（日本人）
- ・プロジェクトコーディネーター（クメール人）1名
- ・農業普及員（クメール人）3名
- ・マーケティング担当（クメール人）4名
- ・コミュニティ開発普及員（クメール人）2名
- ・総務・財務（クメール人）1名
- ・運転手（クメール人）2名
- ・警備員（クメール人）3名
- ・ディレクター（日本人）1名

### 【資機材】（日本側）

- ・車両1台
- ・運搬用トラック1台
- ・出荷用プラスチックボックス40個
- ・竹製保冷棚10個
- ・店舗用業務用冷蔵庫1台
- ・PC2台
- ・カラーレーザープリンター1台
- ・プリンター/コピー機1台

### 【人材】（現地側）

スバイリエン州農業局農業普及員（1名）  
協力NGO職員（2名）

### 【資金】（現地側）

生産者協会メンバーの会費もしくは出資金

### 【場所】（現地側）

共同集荷所  
スバイリエン農業局店舗

## 前提条件・外部条件

まず現在女性組合生産者協会が出荷しているバベットのホテルとの取引が継続することが前提条件となる。先方がスバイリエンの農村支援に熱心なこと、取引に関しても協力的であることから継続することはほぼ確実と言える。ただし、顧客を一つに限定することはリスクが高いため、販路を広げる必要がある。現在はプノンペンクラタペッパー社や在カンボジア JICA 事務所の協力で、月に一度、プノンペンでの販売も行っており、これらの販売も継続されるだろう。IVY では既にプノンペンの

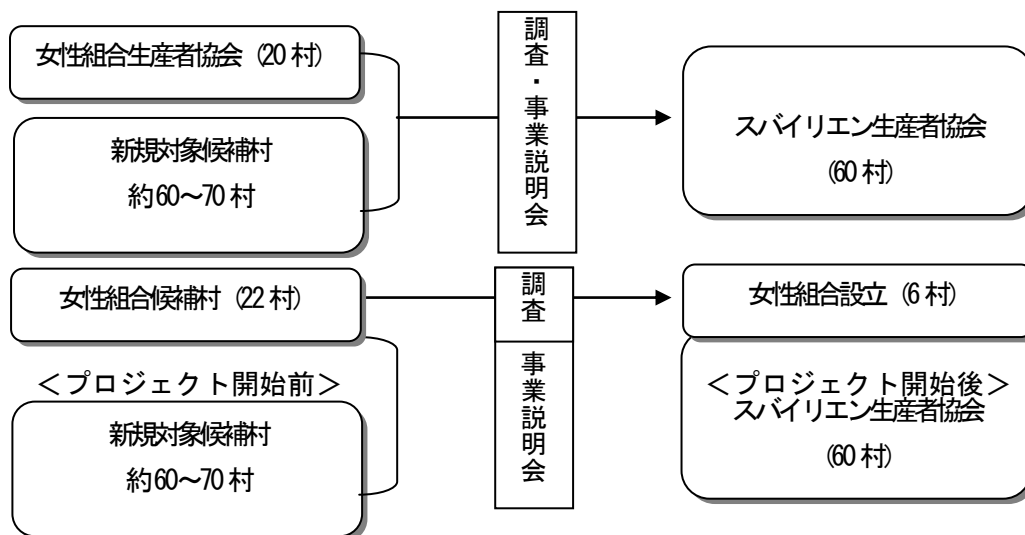
CEDAC ショップやレストランへの納品経験もあるので、運搬手段が整備されれば首都へ大量の野菜を運び販売することも不可能ではない。多数の生産者が組織化されればこれまで量が揃わないことや定期的な出荷が無理なことから納品を断っていた店舗やレストランにも納品ができる可能性もでてくる。また現在バベットの他のホテルもスパイリエンの野菜の購入に興味を持っているが、出荷体制が整っていないために、保留状態になっている。万一現在の顧客のホテルへの出荷が中止されるようなことがあっても、一時的に出荷活動は止まるが販路を拡大することは可能であると考えられる。

もう一つのリスクは天候である。特に雨の被害が野菜を直撃し収穫量に多大な影響を及ぼした。IVY では現プロジェクトの三年目に雨対策として対象村の篤農家にネットを支給することを決めた。またスタッフも雨対策のための指導にも力を入れるようになった。ただし、雨は相当量降るので、防ぎようのない被害も出ることは大いに考えられる。スパイリエンは基本的には平地であるが、当プロジェクトの対象村には、周辺よりも少し高めの地にある村もある。そういった村は雨の被害に合いにくいいため、年間を通して安定して野菜が収穫できる。こうした村が生産者協会に加入することで、天候が不安定でも出荷する野菜を確保できる確率は高まると言える。

最後に協会に加入する生産者が集まるかどうかという問題がある。簡易調査で村長やグループリーダーに話した限りでは皆このプロジェクトを歓迎しているが、実際に出資金や会費の話をした場合に生産者がどう感じるかは分からない。出資金や会費の値段等組織の基本的なしくみは、IVY の独断ではなく事前に女性組合生産者協会のリーダーや活動候補地の農民組織のリーダーといった自身が生産者である関係者と共に話し合い決めていかれるべきであろう。

## ② 事業の受益者層（ターゲットグループ）

現在リストアップされている新規対象候補地 60 村のうち農業組合が 1、生産者グループが 29、現在は活動していない生産者グループが 18 ある。販売野菜の生産者はのべ 1,372 名になるが、新たに組織される「スパイリエン生産者協会」への加入者は 800～1,000 人前後になると見られる。IVY の現プロジェクトでは約 400 名が生産者として登録されているが、現在のバベットへの出荷では単価は近隣の市場と比較して低めに設定されているのである程度の量を生産している農家に参加は絞られると見られる。また女性組合が 6 つの村で形成された場合、組合員数は 400 名ほどになると予想される。よって生産者協会と女性組合を合わせたメンバー(受益者)は最終的に 1,300 名ほどになると予想される。対象となる村は以下の流れで決定される。



### ジェンダーについて

当プロジェクトの新規対象村の既存の生産者グループの多くは男性であることが予想される。しかし現プロジェクト中に結成された女性組合の生産者協会では既に能力の高い7名のリーダーが活動しており、彼女らがスパイリエン生産者協会でも中心的役割を果たすと思われる。女性の組織化は村の活性化や農村女性のエンパワーメントに欠かせないということ、組織された女性グループが生産者協会へ加入することも考えられることから、長年 IVY が行ってきた女性組合作りは継続していく。対象となるのは現プロジェクトで新たな女性組合が2村において設立された、スパイチュルム郡のスパイエツ地区とドンソー地区の村6村になる予定である。これらの村は主要道路や州都からも遠く、収入源の得にくい貧しい地帯である。現在スパイエツ地区の女性組合委員であった女性が IVY のコミュニティー開発チームのパート職員として勤務しており、より地域と密接した形で女性組合の設立とその活動支援ができると思われる。

### ターゲットの収入レベルについて

スパイリエン生産者協会に加入する生産者は、販売野菜を生産している農家で土地も労働力もある（夫が出稼ぎに行っていない）ということで農村の収入レベルの中流に属すると考えられる。一方女性組合にはどんな条件の女性でも加入できる。夫が出稼ぎに行っている家庭でも参加することができる。特に女性組合の主要な活動になる米銀行は土地が小さく米を自給できない農家には魅力的なため、貧しい女性が多く参加すると見られる。また女性組合は IVY の資金援助を得て「最貧困家庭支援プロジェクト」を運営する予定である。これは女性組合が資金の一部を利子なしで最貧困家庭に貸し付ける活動であり、コミュニティー内の相互補助につながる。このように当事業の受益者の収入レベルは最貧困から中流まで幅広いといえる。

### (3) 事業の実施・支援体制

#### スパイリエン地方農業局との連携

「(1)事業実施の背景と必要性」で述べたように、IVYと農業局はバベットへの共同出荷事業を通してパートナーとして連携をしてきた。農業局はバベットのホテルとの商談を進めるにあたってイニシアティブを発揮し、IVYは住民とのネットワークを活かし、柔軟性や行動力を持ってその期待に応えてきた。農業局のディレクターはIVYに野菜の出荷を任せられた理由として「IVYは有言実行の団体だから」と話したと言う。今後スパイリエン州の3群をカバーする生産者協会を設立するにあたり、農業局には理事として主体的に関わってもらおう予定である。マーケット拡大は農業局にとっても主要な戦略であり、当プロジェクトの計画作成にあたってはアイディア段階から農業局と審議を始めていた。また「ファーマーズ・マーケット」の店舗を無料で貸し出すことを始め、農業組合設立の研修指導など全面的な協力を約束してもらっている。本プロジェクトでも農業局との連携・協力はプロジェクトの成果に影響する大きな要因と言える。

#### スパイリエン州の他の農業支援 NGO との連携

スパイリエン州ではCRS(Christian Release Service)という国際NGOが長年巨額の予算で農業支援を行っていたが、2008年に農業支援分野から撤退し、ある意味空白状態が生まれている。現在小・中規模の19前後のNGOが農村開発分野で活動しているが、この同じ分野や地域で活動しているNGOの間にほとんど連携が取られていないというのが実情である。これらのNGOの多くはグループを作り、稲作、野菜栽培、家畜、養殖の支援などを行っているが、農民組織を結成をした場合も農産物の共同出荷に至ってはいないケースがほとんどである。IVYとしては対象村を3郡に広げるにあたって、他のNGOとの連携を非常に重要だと感じている。特に本プロジェクトの対象地域で既に活動しているNGOには既にある住民との関係を活かして、出荷活動に協力してもらいたいと思っている。生産者協会に対してIVYは1支援者であり、支援を独占するのではなく、農業局も含め様々な団体のバックアップを受けるべきだと考えている。こうした事情からIVYは独自に様々な団体と連絡を取り始め、事業について説明し、出荷への参加を呼びかけてきた。本事業の実施するにあたっては、次の二団体のスタッフに出向してもらおうという形で協力を要請しようとして計画している。

- KADSAP: スパイチュルム郡、スパイリエンタウンで農業指導（野菜栽培、稚魚育成）と相互扶助グループの育成
- CFED: スパイチュルム郡、スパイリエンタウンで農業指導（野菜栽培、家畜育成）、保健衛生支援、相互扶助グループ、子どもクラブの育成など

#### (4) 事業の自立発展性の確保の展望

本プロジェクトの強みは実際に大口への出荷が既に始まっているということにある。出荷に参加している生産者はこの出荷が継続されることを望んでいる。出荷活動を担う女性組合生産者協会のリーダーら自身も IVY の支援が止まってからも自分たちだけでまわしていけるようになることを強く望んでいる。本人たちが自立発展性を望んでいるのであれば、後は IVY としては自立していける環境を整備していただくだけである。当プロジェクトの実施期間は短いですが、生産者協会の自立発展性のために次の戦略を持っている。

- 生産者協会のシステム作りには最初から生産者のリーダーを入れ込む
- 女性組合生産者協会のリーダーが出荷活動について直接住民に説明する機会をなるべく多く作る
- 出荷を迅速に開始するために、IVY は物資的な投資はするが、毎月かかるような運営費については生産者協会自ら負担してもらう
- IVY のスタッフが行っている出荷活動について、スタッフが生産者協会の「代理で」やっているということを明確にする。また徐々に任務を生産者協会メンバーに委譲する。
- 生産者協会の会計について、リーダー等に公開し、使途についての権限は生産者協会に持たせる
- マーケティング、起業、ビジネス、組織運営、経理など、生産者協会の運営や発展に必要な研修を主に地域リーダー達対象に行う
- 農業局や他の NGO、その他の関係団体との連携を強め、生産者協会が様々なネットワークや協力者を持てるような環境を作る

#### (5) 事業終了後の団体の関わり方の展望

次のプロジェクトでは、上位目標である「スパイリエン生産者協会が継続して収益を上げ、自立した運営のできる組織に成長する」ことをめざし、支援を継続して行っていく。

以上